



新たな世界へ

学校長 鎌田直純

日一日と、陽の光が輝きを取り戻し、花々の芽も膨らんで、春の喜びを告げています。いよいよ卒業という巣立ちの 때가 やってきました。6年生にとってちょっと淋しい別れの季節ですが、それと同時に、これからの新たなステージの始まりに、期待と希望で胸をふくらませていることでしょう。6年間の菊の園で経験したことは、子どもたちの心を豊かに育てました。6年生は最上級生として、学校のあらゆる場面でリーダーシップを取り、多くの行事にしっかりと取り組んできました。また生活団での活動は、子どもたちをよりたくましく成長させました。下級生たちも、そんな先輩たちの背中を見て、上級生としてのあるべき姿を学びました。5年生は4月より、最上級生となりますが、どういうふうリーダーシップを取っていくか、それぞれが思いを巡らせていることでしょう。そして全学年が協力して、新入生を迎える準備をするのです。

私事ではありますが、私はこの3月で東京学芸大学を定年退職となります。したがって附属大泉小学校の校長も辞することとなりました。この二年間、きくの園できらきらしたまなざしの子どもたちに囲まれ、とても幸せな時を過ごさせて頂きました。

最後になりましたが、本年度のPTA委員の皆様には、多大なご支援とご尽力を頂きまして、まことに有難うございました。また、保護者の皆様には、本校の運営にあたり、深いご理解とご協力を賜り、教職員一同心より感謝いたします。

卒業生の保護者の皆様、お子様方の健やかな成長と活躍を、心からお祈りしております。在校生の保護者の皆様におかれましては、来年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

